

第2回 団体優勝 津田沼支部 個人優勝 小沢(千葉転) 今田鳥組 中鉢(成田) 高木組

日刊 勤労千葉

82.11.19 No.1199

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五・六(公衆電話)三三三二七・三〇七

各支部より46名が参加し、技と力を競う

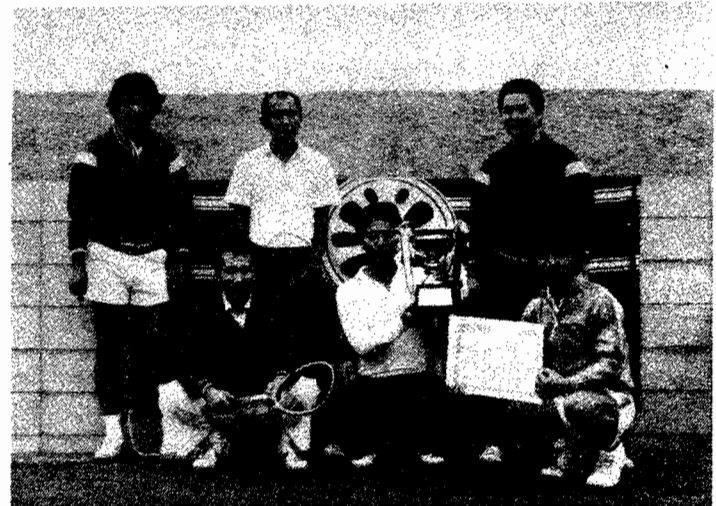
勤労千葉第二回テニス大会は、十一月十六日、白子町・カネイ荘テニスコートで行われ、支部対抗戦では、津田沼支部チームが初優勝を挙げ、個人戦では、田島文博・小沢天任組(千葉転)が優勝を勝ち取った。テニス大会は、各支部から四六名が参加して開催され、今大会を期して設けられた真新しい優勝杯(支部対抗)獲得をめざして熱戦がくりひろげられた。

優勝杯めざし熱戦を展開

試合に先きだち、十五日十二時三十分より、大岩スポ連会長の司会で開会式が行われた。昨年度支部対抗優勝の勝浦支部より、優勝杯返還、本部より林特別執行委員(サークル担当)の挨拶、勝浦支部・毛利選手の力強い選手宣誓、最後に茅野テニス部幹事より、大会の運営、試合方法並びに、注意事項の説明を受けた後、五面のコートを使用して、支部対抗のリーグ戦の火ブタが切つて落された。

試合の結果は、次のとおりです

十五日は、個人戦が九時から予定されていたが、八時頃から降雨があり、午前中待機を余儀なくされた。十時頃より天候がよくなってきたので、試合方法(リーグ戦)を変更(トーナメント方式)して、十二時三十分より行うことに決定した。コート整備も終り、茅野テニス部会幹事の指示により、いっせいに五面コートで熱戦が展開された。雨がウソのように晴れあがり、体中の汗を吹き出しながら、二時間半の戦いがくりひろげられた。十



団体優勝を果たした津田沼支部チーム



11/15 & 16
白子町・カネイ荘
テニスコート

- 〔支部対抗戦〕
 - 優勝 津田沼支部 (石井・後藤組、小島・鈴木組、平野・行方組)
 - 準優勝 勝浦支部 (屋代・米元組、毛利・出水組、鶴岡・佐藤組)
 - 三位 新小岩支部 (磯貝・佐久間組、茅野・大関組、武井・大岩組)
 - 四位 成田支部 (石井・大関組、石井・小高組、山倉・綿貫組)
- 〔個人戦〕
 - II Aクラス II
 - 優勝 田島文博・小沢天任組 (千葉転)
 - 準優勝 小島進一・鈴木文雄組 (津田沼)
 - 三位 山倉広一・綿貫栄一組 (成田)
 - II Bクラス II
 - 優勝 高木梯二・中鉢幸治組 (成田)
 - 準優勝 後藤厚志・椿勇組 (津田沼)
 - 敢闘賞 国井強・石井孝男組 (成田)
 - 江口治男・木田幸男組 (千葉転)